令和 8 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 文学国語

教　科： 国語　　科　目： 文学国語　　単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	A組 正治　知子	B組 石井　幸恵	C組 石井　幸恵	D組 今田　和歌子	E組 石井　幸恵	F組 正治　知子	G組 正治　知子
使用教科書：	『文学国語』東京書籍						

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばそうとする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ることができる。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉の特徴や使い方に関する力を身につける。特に、言葉の働きや文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法や言語文化の特質について理解を深めることができる。	文学的な文章を書くために情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。自由に発想したり評論を参考にして、作品を創作したり、批評しあう活動を通して、書く力を養おうとする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 1　随筆	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	筆者が用いた言葉の意味や背景を理解できる。	随筆　光の窓				筆者が用いた言葉の意味や背景を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	筆者の感じ方や思いを読み取り、ものの見方を広げることができる。	教科書、国語便覧等				筆者の感じ方や思いを読み取り、ものの見方を広げることができている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	筆者の感じ方や思いに対する自分の意見を持つことができる。	デジタル便覧、インターネット				筆者の感じ方や思いに対する自分の意見を持つことができている。				
	単元 2　小説　1	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。	小説　山月記				文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	語り手の視点や場面の設定の仕方・表現の特色について評価することを通して内容を解釈できる。	教科書、国語便覧等				語り手の視点や場面の設定の仕方・表現の特色について評価することを通して内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して話し合いができる。	デジタル便覧、インターネット				登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して話し合いをしている。				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説									1
	単元 3　評論　1	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考えることができる。	評論　言葉を生きる				評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	筆者の考えやその根拠を読み取り、ものの見方を広げることができる。	教科書、国語便覧等				筆者の考えやその根拠を読み取り、ものの見方を広げることができている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	筆者の考えを本文にある表現から読み取り、「言葉」の関係について理解を深めることができる。	デジタル便覧、インターネット				筆者の考えを本文にある表現から読み取り、「言葉」の関係について理解を深めている。				
	単元 4　評論　1	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考えることができる。	評論　詩と感情生活				評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考えている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	筆者の考えやその根拠を読み取り、ものの見方を広げることができる。	教科書、国語便覧等				筆者の考えやその根拠を読み取り、ものの見方を広げることができている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	筆者の考えを本文にある表現から読み取り、「言葉」の関係について理解を深めることができる。	デジタル便覧、インターネット				筆者の考えを本文にある表現から読み取り、「言葉」の関係について理解を深めている。				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説									1

令和 8 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 文学国語

教　科： 国語　　科　目： 文学国語　　単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	A組 正治　知子	B組 石井　幸恵	C組 石井　幸恵	D組 今田　和歌子	E組 石井　幸恵	F組 正治　知子	G組 正治　知子
使用教科書：	『文学国語』東京書籍						

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばそうとする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ることができる。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉の特徴や使い方に関する力を身につける。特に、言葉の働きや文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法や言語文化の特質について理解を深めることができる。	文学的な文章を書くために情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。自由に発想したり評論を参考にして、作品を創作したり、批評しあう活動を通して、書く力を養おうとする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5　小説　3	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。	小説　こころ				文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	語り手の視点や場面の設定の仕方・表現の特色について評価することを通して内容を解釈できる。	教科書、国語便覧等				語り手の視点や場面の設定の仕方・表現の特色について評価することを通して内容を解釈している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを発表することができる。	デジタル便覧、インターネット				人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを発表することができている。				
	単元 6	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説									1
	単元 7　詩歌	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を豊かにすることができる。	詩歌　永訣の朝・硝子の駒				情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	言葉や時代背景について理解を深め、限られた言葉から作者の思いを理解することができる。	教科書、国語便覧等				言葉や時代背景について理解を深め、限られた言葉から作者の思いを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	自分の心情や考えを詩や短歌で表現できる。	デジタル便覧、インターネット				自分の心情や考えを詩や短歌で表現できている。				
	単元 8　小説　2	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文学的な文章を読むことで我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。	小説　山椒魚				文学的な文章を読むことで我が国の言語文化の特質について理解を深めている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察できる。	教科書、国語便覧等				文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察できている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方にふれながら、文章にまとめることができる。	デジタル便覧、インターネット				作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方にふれながら、文章にまとめている。				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説									1

令和 8 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 文学国語

教　科： 国語　　科　目： 文学国語　　単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	A組 正治　知子	B組 石井　幸恵	C組 石井　幸恵	D組 今田　和歌子	E組 石井　幸恵	F組 正治　知子	G組 正治　知子
使用教科書：	『文学国語』東京書籍						

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばそうとする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ることができる。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉の特徴や使い方に関する力を身につける。特に、言葉の働きや文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法や言語文化の特質について理解を深めることができる。	文学的な文章を書くために情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。自由に発想したり評論を参考にして、作品を創作したり、批評しあう活動を通して、書く力を養おうとする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元 9　評論　2	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	評論に述べられた内容を的確に理解し、「文学」の特質について考えることができる。	評論　文学のふるさと				評論に述べられた内容を的確に理解し、「文学」の特質について考えることができている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	教科書、国語便覧等				文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	筆者の考えをふまえて、文学に対する自分の考えを文章にまとめることができる。	デジタル便覧、インターネット				筆者の考えをふまえて、文学に対する自分の考えを文章にまとめることができている。				
	単元 10　評論　2	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	評論に述べられた内容を的確に理解し、「文学」の特質について考えることができる。	評論　文学の未来				評論に述べられた内容を的確に理解し、「文学」の特質について考えることができている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	教科書、国語便覧等				文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	筆者の考えをふまえて、文学に対する自分の考えを文章にまとめることができる。	デジタル便覧、インターネット				筆者の考えをふまえて、文学に対する自分の考えを文章にまとめることができている。				
	単元 11　小説　4	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	5
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	文学的な文章を読むことで我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。	小説　鞄				文学的な文章を読むことで我が国の言語文化の特質について理解を深めている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察できる。	教科書、国語便覧等				文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	寓意が表しているものを読みとり、作者が描こうとした意図について考え、文章化することができる。	デジタル便覧、インターネット				寓意が表しているものを読みとり、作者が描こうとした意図について考え、文章化することができている。				
	単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説									1